

《塩 見 禎 章》 農業振興地域の一部解除について

問 市の南玄関として拠点性を持ち、さらに将来発展させるため、清音地域の県道沿い農地の農振農用地の指定解除はできないか。

答 国や県の縛りを受けて望む方向にいけないのが今の法律。非常に難しいが、突破口を見出し、解除要請を続けたい。首長連合の議論の中にもあるが、選挙で選ばれた首長が土地のブランドデザインができないのはおかしい。権限が地方に移譲されない限り、形は変わらない。基礎自治体に任せてほしいと国県に働きかけていきたい。（市長）

保育園の待機児童について

問 昨年の待機児童は45名、今年も45名の見込みと聞か

れた。待機児童がゼロとなることで、真の子育て王国を標榜できると考えるが、今後の対応はどうか。

答 今年から山手幼稚園と総社北幼稚園で預かり保育を試行し、来年度新たな保育園が開園する。定員は60～90人である。限りなく待機児童ゼロに近づけたい。（市長）

体育施設の指定管理者制度移行後の状況について

問 施設の効果的、効率的



指定管理者制度が導入されている市スポーツセンター

養成は、新たな課題として市はしっかりサポートしていく。

健康対策について

（市長）

問 ①本市における不登校児、ひきこもり等の実態と対策を問う。

②中高年の健康増進・健康寿命の延長はどのように考えるか。

③一般健診受診率を向上させ

《大 熊 公 平》 プレミアム商品券について

問 昨年3月議会で定額給

付金について質問し、景気浮揚・地域振興へ向けプレミアム商品券の発行を提案した。議会と相談し、協力を得てすぐにも行うと答弁があったが、その後どうなったのか。貯金口座に振り込まれた定額給付金を、いかに通帳から引

き出す使ってもらうかを考える必要がある。

答 その後、回答することなく今日を迎えたことをお詫びする。当時、プレミアム商品券は経済活性化の特効薬になりえないのではないかと判断した。将来的に市内でお金を使ってもらえるよう、継続的に考えていきたい。景気回復のために、商品券などの発行を含め、経済活性化策を考えたい。（市長）

《秋 山 律 郎》 新市合併5年目の節目にあたって

問 ①この3月で新市合併

5年目の節目を迎える。市長がまちづくり協議会、地域市長室などを通じて感じる新市の課題は何か。また、それらに対してどのように対応しようとするのか。

②給食共同調理場や消防署昭和出張所などの必要な施設整備を、合併特例債などの有利な財源を使って今後5年以内に行うべきと考えるがどうか。

答 ①旧3市村で違いはあるものも残っている。厳しい決意をもってそれを揃えていくというのが役割であると思

う。ために健康カレンダーは1枚もので見やすいものと考えてはどうか。

答 ①不登校児は、平成20年で小学生14人、中学生61人である。ふれあい教室、カウンセラー派遣、教員の研修等を実施し、効果は上がっている。（教育長）

ひきこもり相談は昨年34件あったが、予備軍にも注視し対応する。（市長）

き出して使ってもらうかを考える必要がある。

答 その後、回答することなく今日を迎えたことをお詫びする。当時、プレミアム商品券は経済活性化の特効薬になりえないのではないかと判断した。将来的に市内でお金を使ってもらえるよう、継続的に考えていきたい。景気回復のために、商品券などの発行を含め、経済活性化策を考えたい。（市長）

うに修繕にも努めている。今後も連携を密にして、さらに利用者の意見も聞きたい。（教育長）

う。また、川西、昭和、池田地区など日の当たらない所にもう少し目を向けるべきだと思っている。

②合併特例債を活用できる事業、雪舟生誕地公園整備については、副市長を中心としたプロジェクトチームをつくり、前向きに捉えて考えていく。（市長）

倉敷船穂真備総社線建設促進期成会について

問 本期成会の活動状況はどうか。また、本路線の整備促進について倉敷市長と協議したことはあるのか。

答 もともと倉敷市、総社市、真備町、船穂町で構成されていたが、途中で頓挫した

②中年者にはがん、生活習慣病等が増えている。青年期の食生活が大切と考え対応する。高年者は、福祉計画に沿っての健康対策と疾病予防対策を実施する。肺炎球菌予防接種の接種率がまだ40％であり、ぜひ最寄りの医療機関で接種してほしい。（市長）

③健康カレンダーは、将来的には1枚ものも検討する。（市長）

（市長）



総社東学校給食共同調理場。建て替え等が検討されている

学校給食について

問 給食共同調理場の建て